

V-CUBE セミナー

Checker2 ご利用マニュアル

情報が見える。コストが見える。ヒトが見える。

見えるコミュニケーション

V-CUBE

www.vcube.co.jp

株式会社バイキューブ

2010/5/17

この文書は、ウェブテレビ会議システム「V-CUBE セミナー」の機能、Checker2 のマニュアルです。

©2010 V-CUBE, Inc. All Rights Reserved.

更新履歴

更新日	内容
2010/5/17	サービスブランド名変更に伴い「nice to meet you」を「V-CUBE」に変更
2009/12/16	レイアウト修正、ダウンロードページ変更

内容

1	Checker2 について.....	- 1 -
1.1	本マニュアルについて.....	- 1 -
1.2	Checker2 とは.....	- 1 -
2	Checker2 をダウンロードするには.....	- 2 -
3	Checker2 アプリケーションを利用するには.....	- 4 -
3.1	Checker2 を起動するには.....	- 4 -
3.2	Checker2 の機能を利用するには.....	- 5 -
3.2.1	カメラの診断をするには.....	- 5 -
3.2.2	マイクの診断をするには.....	- 7 -
3.2.3	ネットワークの診断を行うには.....	- 9 -
3.2.4	利用環境の総合診断を行うには.....	- 11 -
4	動作環境.....	- 13 -
5	お問合せ.....	- 13 -

1 Checker2 について

1.1 本マニュアルについて

本マニュアルは V-CUBE セミナー（以下、セミナー）のサービスである Checker2 の利用方法を示したマニュアルです。

1.2 Checker2 とは

Checker2 は、セミナーをご利用頂くパソコンの環境を診断するためのサービスです。本サービスを利用することにより、ネットワークの接続、カメラ及びマイクの設定が適切な状態であるかを確認することができます。また、スピーカーとマイクの音量を、セミナーの利用に最適な音量に自動で調整します。

2 Checker2 をダウンロードするには

Checker2 を利用するためには、利用環境の診断を行うパソコンに Checker2 アプリケーションのダウンロードが必要となります。Checker2 アプリケーションは、ログイン後のメインメニューからダウンロードすることができます。

以下にダウンロードの手順を示します。

手順1. セミナーにログインします

手順2. 「ツール・マニュアル」ボタンをクリックします

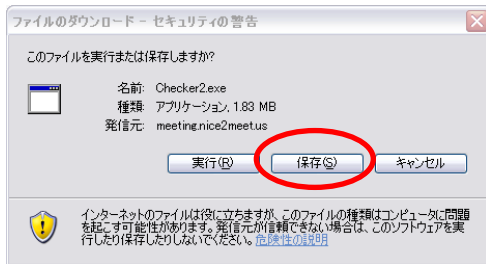


手順3. Checker2 の欄の「今すぐダウンロード」ボタンをクリックします

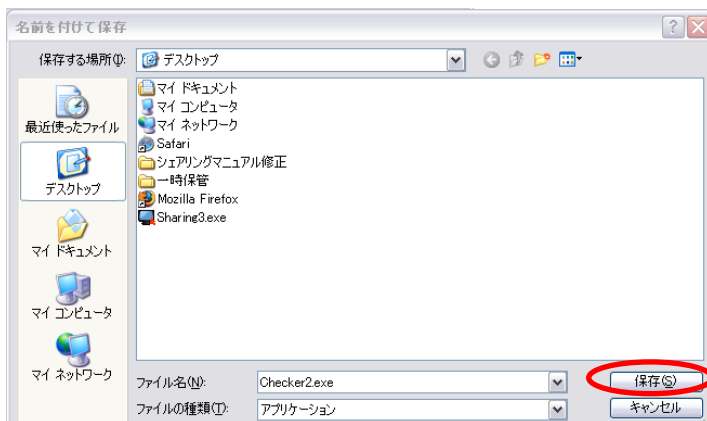


The screenshot shows the 'ツール・マニュアル' (Tools & Manuals) page. Under the 'Checker2' section, the text reads: 'Checker2 は「nice to meet you セミナー」をご利用頂ける環境が診断できるツールです。ネットワーク環境、カメラ、マイクの設定を自動で診断し、適切な状態であるかをご確認頂くことができます。 ※Checker2 は、Windows 2000, XP でご利用頂けます。' Below this text, the '今すぐダウンロード' (Download Now) button is circled in red. Other sections visible include 'Sharing3', '講師用 高画質配信プラグイン', '視聴環境サイト', 'ECOメーター', and 'CaptureB'.

手順4. 「保存」ボタンをクリックします



手順5. 保存先を選択し「保存」ボタンをクリックします



ダウンロードが完了すると、保存先のフォルダに Checker2 のアイコンが表示されます。

デスクトップ画面に保存した場合



以上で、Checker2 のダウンロードは完了です。

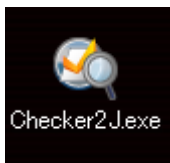
3 Checker2 アプリケーションを利用するには

Checker2 を利用する前に、ご利用環境の診断を行うパソコンにカメラとヘッドセットを接続する必要があります。

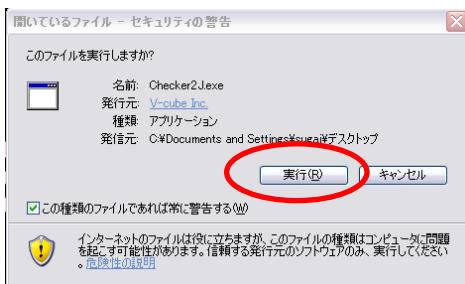
注意1. カメラとヘッドセットの接続については各メーカーのマニュアルをご参照下さい。

3.1 Checker2 を起動するには

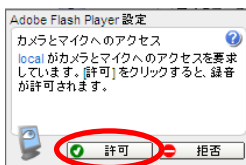
手順1. Checker2 のアイコン (Checker2J.exe) をダブルクリックします



手順2. 「実行」ボタンをクリックします



手順3. Adobe Flash Player 設定で、「許可」をクリックします



以上で、Checker2 が起動します。



3.2 Checker2 の機能を利用するには

Checker2 アプリケーションを起動すると、ネットワークの接続、カメラ及びマイクの設定が適切な状態であるかを診断し、どの程度利用に適しているか確認することができます。

3.2.1 カメラの診断をするには

セミナー をご利用頂くパソコンで、カメラ映像を正常に表示できるか診断します。

手順1. Checker2 を起動します

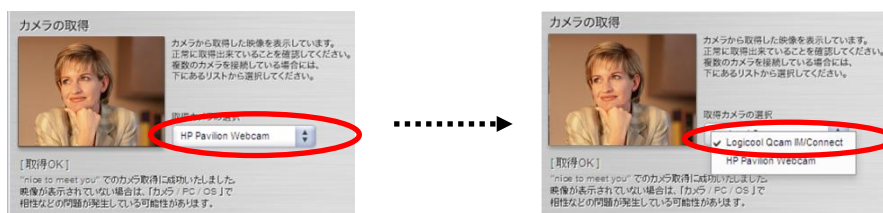
手順2. 「カメラの取得」部分にカメラの映像が映っているかどうか確認します



利用するパソコンに複数のカメラが接続されている場合 (パソコン内蔵型のカメラも含む)

利用するパソコンに複数のカメラが接続されている場合は、利用したいカメラを選択する必要があります。

- ① 「取得カメラの選択」のカメラ選択欄をクリックします
- ② 利用したいカメラを選択します



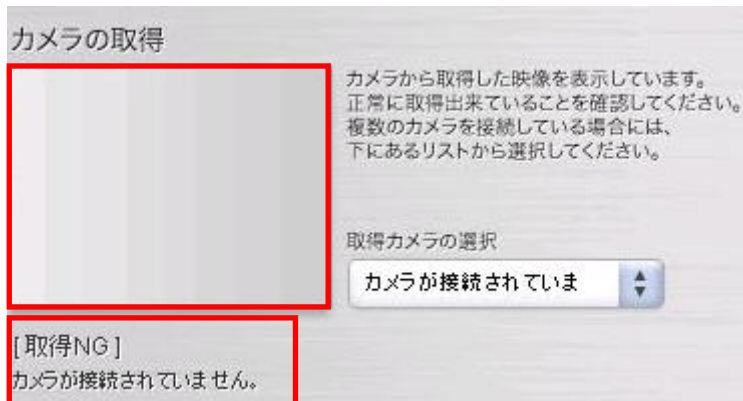
手順3. 診断結果を確認します



右図のように「取得OK」と表示されましたら、セミナーでカメラ映像を正常に表示することができます。

カメラの映像が表示されない、診断結果が「取得 NG」と表示された場合

下図のように表示されましたら、セミナー を正常にご利用頂けません。会議に参加することはできますが、自分の映像が表示されません。



下記の項目をご確認の上、Checker2 アプリケーションを再起動してください。それでも解決されない場合は、ブイキューブカスタマーサポートセンター (vsupport@vcube.co.jp) までお問い合わせ下さい。

<確認事項>

- (a) カメラが PC にきちんと接続されているか。
- (b) カメラが PC に認識されているか。

注意1. カメラの種類によってはカメラドライバのインストールが必要になります。カメラドライバのインストールについては各メーカーのマニュアルをご参照下さい。

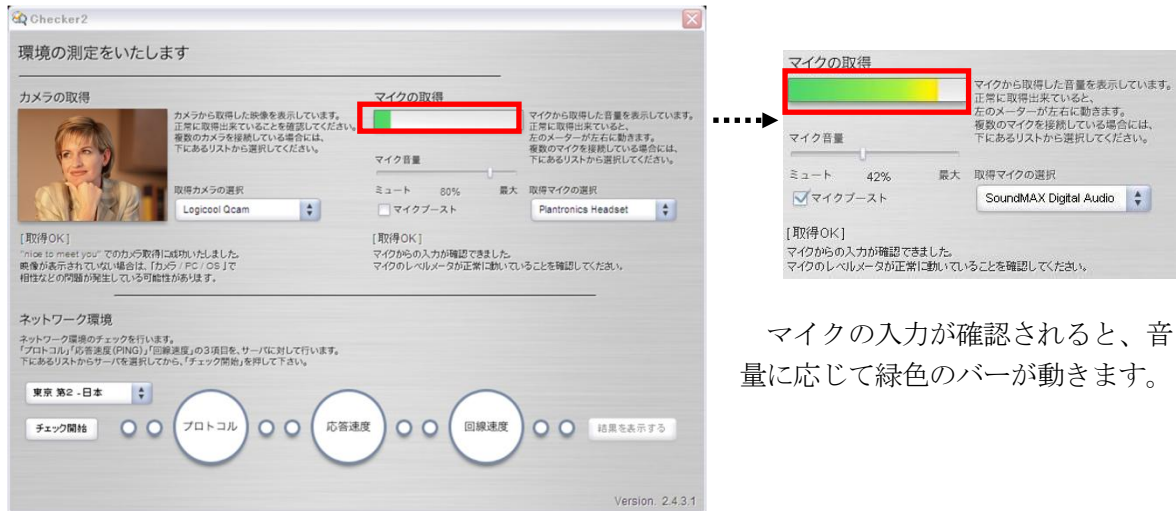
以上で、カメラの診断は終了です。

3.2.2 マイクの診断をするには

セミナー を利用するパソコンで、マイク入力が正常に行われるか診断します。

手順1. Checker2 を起動します

手順2. マイクに向かって発声し、「マイクの取得」部分の緑色のバーが動くか確認します

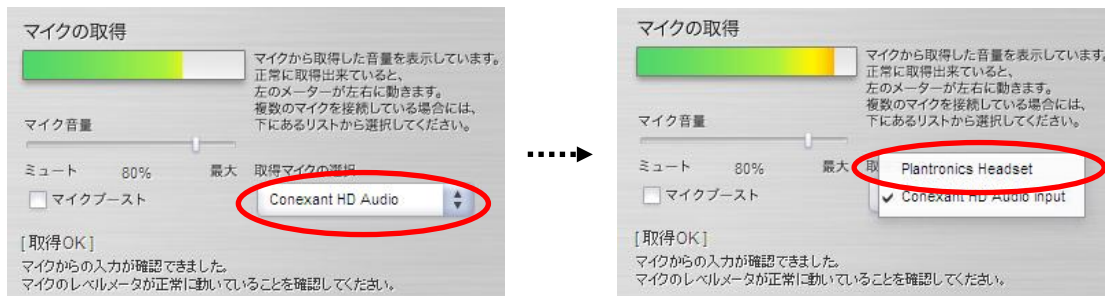


マイクの入力が確認されると、音量に応じて緑色のバーが動きます。

利用するパソコンに複数のマイクが接続されている場合（パソコン内蔵型のマイクも含む）

利用するパソコンに複数のカメラが接続されている場合は、利用したいカメラを選択する必要があります。

- ① 「取得マイクの選択」のカメラ選択欄をクリックします
- ② 利用したいマイクを選択します



マイクの音量を調節する場合



マイクの音量を調節できます。

- ① マイク音量の、調節つまみをクリックします
- ② そのまま調節つまみを動かし、音量を調節します

マイクブースト機能を利用する場合



マイク音量を調整してもマイク取得を適正に行われない場合、マイクブーストボタンにチェックをする、もしくはチェックを外します。但し、音声に不具合が無い場合は、この設定は変更しないでください。

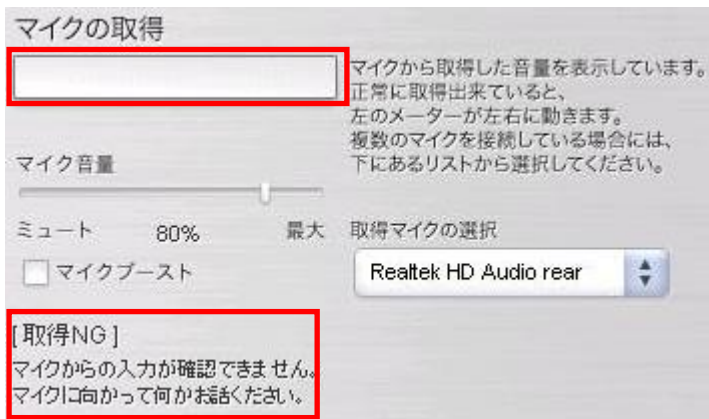
手順3. 診断結果を確認します



右図のように「取得 OK」と表示されましたら、セミナー でマイク入力を正常に行うことができます。

緑色のバーが動かない、診断結果が「取得 NG」と表示された場合

下図のように表示されましたら、セミナー を正常にご利用頂けません。会議に参加することはできますが、自分の音声相手が届きません。



下記の項目をご確認ください。それでも解決されない場合はブイキューブカスタマーサポートセンター (vsupport@vcube.co.jp) までお問い合わせ下さい。

<確認事項>

- (a) マイクがきちんと接続されているか。
- (b) マイクの電源が入っているか。

以上で、カメラの診断は終了です。

3.2.3 ネットワークの診断を行うには

セミナー をご利用頂くパソコンが接続しているネットワーク環境の診断を、「プロトコル」、「応答速度」、「回線速度」の3項目において行います。

手順1. 接続するデータセンターを選択します

リストからセミナー を利用する場所から一番近いセンターを選択します。サーバーの名前が書いてある項目をクリックすると、一覧がプルダウンで表示されます。

日本で利用する場合は、「東京第1」、「東京第2」のどちらを選択して頂いても問題ありません。

注意1. 起動時は「東京 第2-日本」に選択されています。



手順2. 「チェック開始」ボタンをクリックします



以上で、診断が開始されます。

「プロトコル」、「応答速度」、「回線速度」の順に、チェックが終わった項目が青く変化していきますので、最後の項目のチェックが終わるまでそのままお待ちください。



手順3. 診断結果を確認します



各項目の下に診断結果が表示されます。

- (a) GOOD
推奨環境を全てクリアしています。
- (b) OK
最低動作保証環境をクリアしています。若干の遅延が発生する可能性があります。
- (c) NG
最低動作保証環境を満たしていません。
- (d) 失敗（プロトコルチェック結果でのみ表示）
インターネットに接続されていない、もしくはセキュリティソフトがネットワーク接続を遮断している可能性があります。
下記の項目をご確認の上、Checker2 アプリケーションを再起動してください。それでも解決されない場合は、ブイキューブカスタマーサポートセンター (vsupport@vcube.co.jp) までお問い合わせ下さい。

<確認する項目>

- 1、インターネットに接続できるか。
- 2、セキュリティソフトがネットワーク接続を遮断していないか。

3.2.4 利用環境の総合診断を行うには

カメラ映像、マイク音声の取得、のパソコンのスペック、ネットワーク環境など、利用する環境の総合的な診断を行うことができます。

手順1. Checker を起動します

手順2. 接続するデータセンターを選択します

注意1. 接続するデータセンターの選択方法は、3.2.3 ネットワークの診断を行うには 手順1 (9 ページ) をご参照ください。
日本で接続する場合は、「東京第1-日本」、「東京第2-日本 (初期設定)」のどちらを選択して頂いても問題ありません。

手順3. 「チェック開始」ボタンをクリックします



診断が開始されます。

「プロトコル」、「応答速度」、「回線速度」の順に、チェックが終わった項目が青く変化していきますので、全ての項目が青に変化し、「結果を表示する」のボタンが押せるようになるまで、そのままお待ちください。



手順4. チェック終了後「結果を開始する」ボタンをクリックします



手順5. 総合診断結果を確認します

セミナー を利用するパソコンの総合評価が表示されます。



① 総合評価ランク

S,A,B,C,D,F の 5 段階で評価されます。それぞれの総合評価ランクの内容は、画面下部の「測定結果について」をご参照ください。

注意1. 総合評価ランクはあくまで目安です。診断されたランクの内容と、実際利用した際の状態が異なる場合がございますので、ご注意ください。

② 詳細情報

セミナーを利用する場合の推奨環境と、診断を行ったパソコンの診断結果が表示されます。

パソコンの診断結果は「システム情報 (パソコンの情報)」、「カメラの取得」、「マイクの取得」、「ネットワーク環境」の 4 つが表示されます。

③ 計測に戻る

Checker2 のトップ画面に戻ります。

④ 計測結果をメールで送る

測定結果の詳細を、メールでブイキューブカスタマーサポートセンターに送信します。

⑤ 測定結果の詳細を、パソコンのクリップボードにコピーします。

注意2. 文字情報をコピーしたのと同じ状態になります。次に、ワードやメモ帳など、テキスト情報が張り付けられるソフト上で「貼り付け」を実行すると、詳細な診断結果が貼り付けられます。

4 動作環境

以下に、Checker2 アプリケーションの動作環境を示します。

- ① 対応OS
Windows 2000, Windows XP, Windows Vista
- ② CPU
Pentium III 633MHz 以上
- ③ メモリ
256M 以上
- ④ Adobe Flash Player
Adobe Flash Player 8 以上

Mac 対応について

現在、Mac では本サービスをご利用頂けませんので、簡易 Checker ツールをご利用ください。

5 お問い合わせ

本マニュアルに関するお問い合わせ先は、ブイキューブカスタマーサポートセンターまでお願いいたします。

- ブイキューブカスタマーサポートセンター
電話 : 0570-00-2192 (24 時間 365 日電話受付)
メール : vsupport@vcube.co.jp